

## Topic 1

## ◇ 今春入試合格体験記 喜びの声

### 南浜 功輔 さん

■合格大学：横浜市立大学 国際総合科学部 国際総合科学科

■学校名：都立駒場高校 ■校舎名：小竹向原校



#### ● 合格を手にしたの感想

9月の終わりまで部活をやっていたので、放課後も受験勉強に使えるようになったのは、10月からでした。その頃は部活を言い訳にするような結果にはしたくないと思って勉強していました。高校受験とは違い、浪人があるというプレッシャーは時にモチベーションになったし、時に本当に怖くて苦しくなることもありました。そんな時、塾の先生方や学校の友だち、両親や様々な人たちが支えてくれ、どうにか乗り切り、やりきることができました。そんな色々な人の思いがあつての「合格」は本当に嬉しかったです。

#### ● 俊英館に通塾して良かったところは？

物理の映像授業をとっていました。最初、物理はまったくできなかつたので正直不安でした。だけど授業は丁寧だし、テキストの問題はどれも良問ばかりで予習復習をしっかりとやったら、短期間で物理が得意になっていました。また毎日夜10時まで自習室が利用できたので、ずっと自習に使わせてもらいました。多くの先生方が相談に乗ってくださったり、話しかけてくださったり、励ましてくださったりして、本当にありがとうございました。

#### ● 後輩へのアドバイス

「何かを全力でやってみる。」勉強でも、部活やクラブ、趣味でも何でも、とにかく打ち込んだという経験が多いと、いざ受験するときにも全力でやれるようになります。そして何より後悔が残らないように日々を送ってください。中途半端な気持ちは受験に持ち込まないように、切り替えをうまくする習慣を付けるといいと思います。受験は結果よりも内容の充実が大きな経験として残ります。頑張ってください。

### 青木 拓海 さん

■合格大学：東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科

■学校名：県立川口東高校 ■校舎名：鳩ヶ谷校



#### ● 将来の夢や目標は？

建築士になることです。建築学科ではなく、東洋大学の人間環境デザイン学科を選んだ理由は、建築だけでなくインテリアや福祉などのデザインが学べるからです。建築士の資格を取るとともに、インテリアコーディネーターや福祉住環境コーディネーターなど色々な職業を目指してがんばりたいです。

#### ● 俊英館に通塾して良かったところは？

俊英館には成績を伸ばすために通いました。中学生の頃は偏差値を10以上も上げてもらい、高校では評定平均を0.4ポイントも上げることができました。高校部では個別指導も受講していたので自分のやりたいことを教えてもらえるのがよかったです。先生方には迷惑をかけたりしましたが、最後まで希望を捨てないよう導いていただき第一志望の大学に合格できました。今までありがとうございました。

#### ● 後輩へのアドバイス

1・2年でやるべきことは、まず高校の成績を上げておくことです。指定校推薦で自分の行きたい大学が見つかるかもしれないからです。成績をあげる秘訣は「やる気と覚悟」です。自分も受験勉強のスタートが遅かったのですが、覚悟を決めて頑張った高3のときの成績(評定)は、4.2でした。1・2年の方はまだ遅くないので、高校の成績を上げる覚悟を決めて頑張ってください。

高1生は、高2で選択する科目を選ぶ「文理選択」の時期ですね。大学受験で求められる知識をこれから増やしていこうという高1生ですが、「文理選択」の際、何を基準にして決めればよいか分からない人が多く、よく相談を受けます。俊英館では、入試情報の知識が豊富なスタッフが、一人ひとりに合わせた選択の相談に乗ります。少しでもわからないことがあったらぜひ声を掛けてください。

### ◇理系でしかねない職業

理系の大学を卒業しないと資格が得られない職業があります。次の職種を志望する人は、迷わず理系を選択しましょう。医師、獣医、薬剤師、建築士などです。

理系の大学を受験するために、数Ⅰ・A、数Ⅱ・B、数Ⅲが必要で（薬学部は数Ⅲが必要ない大学もあります）、理科も基礎科目に加えて、いわゆる「基礎なし」の物理、化学、生物のいずれかが必要になります。ほとんどの高校では、理系を選択しないと理科の基礎なし科目の授業は受けられません。

### ◇文系が有利な職業

弁護士、司法書士、学芸員などは、文系の大学を卒業すると有利になります。試験の一部が免除されたり、大学に資格取得のための講座があったりするからです。

文系に進むと、「受験では数学を選択できない」と考えている人がいますが、そんなことはありません。多くの大学の文系学部（法学部・経済学部・文学部など）の入試で数学が選択できます。「数学が得意なのでそれを活かすために、法学に興味があるけれど理系を選択しよう」ということで、数学を活かしながら文系学部を受験できるので安心してください。また、何より得意科目を選択しておくことで、「評定平均」が上がり、推薦での大学合格の可能性が高まります（ただし、高3で選択する数学Ⅲは、数学が好きだとしても文系志望の人が選択してはいけません。ほとんどの場合負担になり、メリットはゼロからです）。最終的な受験科目の決定にあたっては、志望大学の入試要項を必ず確認してください。

### ◇選択しておくとな利な科目

文系を選択した人の中でも多くの人が理科の科目で選択を迷います。理科の基礎なし科目は文系の人には原則避けましょう。基礎なし科目は理系で専門的に学ぶ人が受験で使用します。文系の人には基礎科目の中から選択します。地学>生物>化学>物理の順で暗記の割合が多く、物理は最も計算量が多く数学に近い科目です。数学が得意な文系の人には物理を選択してもよいわけです。暗記が得意な人は地学または生物を選択しましょう。

また、受験では必ずしも選択しなくてよいが、大学に入ってから使うので受験の時もできれば選択しておいたほうがよい科目があります。看護師であれば生物・化学、工学部志望なら物理、管理栄養士なら生物・化学、薬剤師なら化学・生物です。

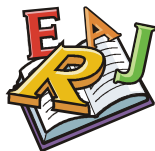
### ◇文系・理系が決めきれない人は…

やりたいことが決まらないために文理選択に迷う、得意科目と不得意科目にそれほど差がないために迷うという人がいます。可能性を狭めない文理選択をすることがポイントです。

迷ったら理系を選択。これが鉄則です。理由は、理系を選択した後に自分に合わないことが分かったら文系に変更することもできますが、文系を選択した後に理系に変更するのは現実的ではありません。それは、理系科目を選択していないので、入試のために自分で勉強しなければならず、それは非常に負担が大きいからです。でも、文系科目は暗記科目が多いため、その逆はなんとかなります。過去の例でも、「最終的には文系に進んだが、理系を選択しておいてよかった」という先輩は数多くいました。

◇裏技?! 選択に迷いはつきものです。試験でも「最後の2択で迷った。逆を選んでいけば正解だった!」という経験はだれでもあると思います。そんな選択に迷ったときの考え方は、選択が間違ったと仮定したときの後悔する度合いを比較し、「後悔する度合いの低いほうを選択する」です。

A を選択して間違ったときに後悔する度合いと、B を選択して間違ったときに後悔する度合いを比べて、その度合いが低いほうを選択するのです。裏を返せば、「こっちを選んで間違ったらしょうがない」と潔く決断することです。逆を選んで間違ったら、より大きな後悔が待っているからです。この考え方も参考に、より良い「文理選択」をしてください!



1 大学授業 1コマ100分に延長 留学後押し

1 コマの授業を 90 分から 100 分にする大学が全国的に増えている。明治大と芝浦工業大が今春にスタートし、法政大も来年度に始める。一つの科目の授業数を減らし、学生に不評な「休日授業」をなくしたり、夏休みを長くして留学を後押ししたりするのが狙いだ。討論や発表が中心の「アクティブ・ラーニング」を取り入れやすくなる一方、学生の集中力が持続するのなどの懸念もある。

明治大は1 コマを10 分長くすることで半期の授業数を15 回から14 回に減らした。昨年度は、祝日で休講になった授業を別の休祝日に振り替える休日授業が6 回あったが、今年度は減らすことができ、全キャンパス休講の「大学祭週間」も11 月に新設できた。

来春から100 分にする法政大は授業数が減る分、夏休みを昨年度よりも1 週間ほど長くして8 月1 日～9 月20 日にする。学生は海外留学や国外企業・団体などのインターンシップに参加しやすくなり、大学も夏休みに集中特別授業を組みやすくなる利点がある。

授業風景も変わる。法政大は2 人の教員が1 コマを半分ずつ担当したり、前半は講義、後半はディスカッションに充てたりするなど、新たな授業の進め方を取り入れる方針だ。広報課は「これまで分割するという発想がなかったが、さまざまな工夫ができる」と説明する。



明治大学



法政大学



芝浦工業大学

2 私大の再編を提言 国立との統合も

政府の経済財政諮問会議が4 月25 日開かれ、民間議員が、経営が厳しい私立大学について、国立大学との統合や大学運営からの円滑な撤退を促す制度作りを提言した。乱立する私大の再編・淘汰(とうた)により国の予算を効率的に配分し、質の高い教育を受けられる環境を整える狙いがある。6 月に策定する経済財政運営の指針「骨太の方針」に反映させたい考えだ。

少子化の影響で、規模の小さい私大では定員割れを起こすなど経営環境が悪化。一方、中国や韓国の手頭でアジアにおける日本の大学の評価は低下してきており、教育予算の戦略的な配分が課題となっている。

民間議員は提言で「国公立の枠を超えた経営統合や再編が可能となる枠組みを整備すべきだ」と主張。国立大学法人が一つの大学しか設置できない「1 大学1 法人」制度の見直しなどにより、経営が安定している国立大学の傘下に私大を収める方法を模索するよう求めた。また私大の経営が急激に悪化した場合に備え、学部や生徒、教員を円滑に他の大学に移行できる制度の構築も求めた。

国が支給している私学助成については「教育の成果を反映した大胆な傾斜配分など仕組みの見直しを行うべきだ」と主張。教職員数や生徒数などに応じて機械的に配分する現行制度を改め、就職率の高さなど具体的な成果に応じて助成金額を決めるよう求めた。私大の東京一極集中で、地方からの若者流出が拡大している点も問題視されており、東京都内の大学、学部は、一つ増やすごとに一つ廃止することを原則とし、これ以上数を増やさないよう提言した。





■ 公募推薦入試 出願要件・選考方法に注意

推薦入試には、全国どの学校からでも出願できる「公募制」と、出願できる高校が大学に指定されている「指定校制」がある。国公立大の推薦入試は原則として公募制で、指定校制はない。公立大は一部、指定校制を実施する大学もあるほか「県内・市内の高校の出身者」などと指定される場合もある。私立大は、公募制と指定校制の両方を実施するところが多い。推薦入試は、大学・学部・学科や方式によって出願要件や選考方法が大きく異なる。必要な評定平均値はだいたい 4.0~3.0 を設定しているところが多いが、4.3 以上と高いところもある。国公立大では、ひとつの高校から出願できる人数に制限があるケースがほとんどで、志願者が多い場合は、高校のなかで学内選考が行われる。推薦入試の受験を検討している場合、早めに先生に相談するのがよい。

■ 出願要件のポイント

**学業成績**…主に、調査書の全体の評定平均値や学習成績概評で示される。特定教科の評定平均値を求める大学も少なくない。

**併願の可否**…国公立大は原則、合格したら入学を確約できる「専願者のみ」が出願可。私立大は「専願者のみ」とする大学も多いが、関西地区を中心に「併願可」とする大学も相当数ある。「本学への入学を希望する者」という大学もある。このような場合、併願の可否は大学に確認したほうがよい。

■ 選抜方法の典型例

- ①書類審査+面接
- ②書類審査+小論文+面接
- ③書類審査+小論文 or 学力試験
- ④書類審査+学力試験+面接
- ⑤書類審査+小論文+学力試験+面接

最も典型的なのは②である。国公立大では「センター試験を課す」③④⑤のタイプが増えている。私立大でも関西地区を中心に「基礎学力試験」などの名称で学力試験を課すところもある。

■ 確認ポイント

- ①出願受付は原則 11 月 1 日から。
- ②学校長による推薦が主だが、自己推薦も少なくない。
- ③調査書の評定平均値の基準「あり」が多い。
- ④出願資格で、国公立大は「現役生に限る」が多い。私立大は「現役生に限る」「制限なし」などさまざま。
- ⑤試験は 1~2 日型が多い。(国公立大はセンター試験を課すタイプが増加傾向)

■ 推薦入試のスケジュール

大学	入試方式	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国公立大	センター試験課す	センター試験 出願受付	出願	選考	センター試験	合格発表 入学手続	
	センター試験免除		出願	選考	合格発表・入学手続		
私立大	公募制 推薦入試		出願	選考	合格発表・入学手続		